明治廿九年八月五日印刷
明治廿九年八月七日發行

婦人衛生雜誌

第八十壹號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第八拾壹號
目次

講演

●阿片に就て　醫學士　高田耕安君

●大日本私立婦人衛生會新潟支會記事

●同支會へ総裁殿下御臨場

衛生叢談

●撃劍柔術を体操に加ふるの議

●赤痢病の流行

●本年のコレラ病

●海老のおぼろ

●魚肉生食注意

●明治廿八年六種傳染病患者及死亡數

●衛生諸規則違犯者數件

●三陸海嘯義捐者姓名幷收支決算及三縣知事の謝狀

●廣告

大日本婦人衛生雜誌
第八拾號
目次

講演

●生理學講義（第六回）　醫學博士　坪井次郎君

●種痘發明者善那氏頌德の記

衛生叢談

●警視廳東京府告示

●再歸熱流行地及ひ患者數

●岩手縣知事の告諭

●全國虎列剌病患者と死亡者

●嚴禁したる差入物の種類

●濾害地の病傷者

●海濾と疾病

●沸騰散

●大日本婦人衛生會の救恤

●廣告

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第八拾壹號
（明治二十九年八月七日發行）

講演

◉阿片に就て

醫學士　高田耕安君　演說
佃速記事務所員　速記

此題を撰びました譯は、阿片の害の大いあるを御承知になりまして、ソレを豫防せられんことを望むが故です、此阿片と申すものはなんであるかと云ふに、罌粟の液汁で、罌粟は其葉にも實にも根にも、いづれの部分にも阿片になる汁を有して居る。ソレで此罌粟の實の熟する凡そ二週間程前に罌粟売の肌に、或は縱に或は橫向に傷を附けて、ソコより漏れ出づる白い乳汁を聚めたので即ち阿片で有ります、此白い乳汁が時を經まずると、黧色になり、極く濃くあり硬くなる、その香ひは不快のもので、魔睡性の香ひと云ひますが、睡むたい臭ひと云ふても分りませぬが、先づ蒼臭ひのです。その味は極く苦いもので有ります。此阿片は通常白い花の咲く罌粟から收るので有ります。此阿片を製造致しまする處は、亞細亞、土耳其、埃及、波斯、印度、支那等に於ては盛に製造致します。其外歐羅巴、亞米利加、濠太剌利亞等に於ても罌粟を培養して阿片を製します、其他の處に於ても罌粟を培養しまする。日本では大坂府、滋賀縣、三重縣で罌粟を作ッて居る、是れは皆藥用に供するので御座います、阿片を藥として用ふる事を知りましたのは、何比かと云ふに、遙かに遠き昔、即ち

基督降生紀元前、希臘の古代ヒポクラテスの世に在りし比に、既に阿片を藥として用ひて居りました。併し今日の如く廣く藥用に供するのは漸く第十七世紀の中頃より始まりましたので御座います。支那に於ては明の末比に既に阿片を藥として用ふる事を知ッた模樣で有ります、其比の藥方に阿片の這入ッて居るのが有ります。日本では何頃から用ひ創めましたか、未だ調べては見ませぬが、西洋醫學の輸入されました時には阿片も同時に這入ッたに違ひないのであります。阿片の作用をなす部分はなんであるかと云ひまするに、其中に含んで居る「アルカロイド」即ち植物鹽基と云ふもので有ります。ソレは今日までに凡そ二十種發見して有りますが、其中の主なる物は「モルヒネ」で有ります。其外の「アルカロイド」は或は其分量尠なく、或は其作用弱く致しまして、殆ど數ふるに足らぬので有ります。其阿片の作用は、其中に含まれて居る「モルヒネ」に由ると見做しても大なる過りは無いので有ります。其「モルヒネ」は阿片の中にドの位ゐ含まれて居るかと云ひまするに、罌粟の種類、其培養せらるゝ土地、又阿片を採收する時期などに因つて違ひが有りますが、最も多いときは百分中に二十三含まれて居る、極く少ないときは二分含まれて居る、五乃至二十プロセント含まれて居ると說く人も有ります。藥に用ひまする阿片にはいつでも十プロセント以上の「モルヒネ」を含んで居る。十プロセントより尠なきときは、藥に用ひないことに定められて居るので有ります。藥用に供する阿片は主に亞細亞土耳其、小亞細亞から出まして、其處より世界各

阿片に就て

國に輸出して居る位ゐで有ます。印度でも阿片を澤山に製造しまするが、ソレは藥用には供しませぬ、印度製の阿片の中に含まれて居る「モルヒ子」は十プロセント以下で有ります、其阿片は殆ど皆支那人の吸入用にするので有ります……勿論其土地の人も吸ふのでは有りますが、是れを他國に輸出すると云ふときには、殆ど皆支那に往くので有ります。

阿片外に「モルヒ子」は激烈なる藥で有りまして、「モルヒ子」六センチグラム即ち一厘六毛を用ひますれば、生命を失ふ位ゐです。就中小兒は此毒に堪ゆる力か乏しうしまして、其六十分の一、即ち一ミリガラム……日本の二毛七朱の十分の一だけを服しましても、生命を失ふに至るのです。ソレ故先づ三歲未滿の小兒には、如何ある病氣たりとも殆ど「モルヒ子」を用ふる事はないのであります。又阿片は乳と共に分泌されます故、乳を飲ませる婦人には、阿片を用ふべき場合でも成るべく用ひない様になッて居る、若し已むを得ずして用ふる場合には、非常に控へ目にして少量を用ひますか、或は斷然授乳を服藥中禁ずるので有ります。

倘ほ阿片の身體に及ぼす作用を少しく委しく述べますれば、「モルヒ子」一センチグラム即ち殆ど二毛七朱を飲みますると、精神身体が興奮して活潑になる、又時として幻覺、幻を感ずる事なども有ります。ソレから少しく經ッと、頭が重くなり、氣が漠然として眠氣を催し、遂に睡眠するので有ります。若し其三倍量即ち三センチグラム、我八厘を用ひまするると間もなく眠ッて仕舞ふ。又ソレを用ひますときに嘔吐を催し、小用が仕たくな

ッても通じなくなり、或は皮膚のヒリ／＼する感覺、或は其後に腫物などを生ずるとが有ります。又此分量では眠ッて居ッても刺戟すれば直ちに目が覺める此分量は「モルヒ子」としては大量、藥としては是れより多量は用ひないことになッて居る。若し其倍量即ち六センチガラム以上を用ひますれば昏睡に陷る。昏睡は眠ッて仕舞ッていくら打ッても捻ッても覺へが無い、サウする中に、だん／＼呼吸は微かになり、遂に脈も絶えて死んで仕舞うと云ふのが、「モルヒ子」を飲んで自殺したものなどの狀態である。併し一度昏睡に陷つて居るものでも、隨分また恢復すると云ふやうなことも有ります。若し過ッて阿片の分量を飲みすぎるとか、或は間違へてソレを用ふるとかして阿片中毒を發したるときは、其救急法は如何せらるれば宜いかといふに、第一咽喉を毛筆或は指を以て擦ッて刺戟して嘔吐を惹起すが宜い、而して胃の中に殘ッて居るものを吐き出させて仕舞う。ソレから極く濃き茶を飲ませる……ソレが極く適當の仕方である、濃い咖啡も宜いですが、茶の方が一層適當して居る。ソレから成るたけ眠入ッて仕舞はんやうに眠を覺醒せしむるが宜い、强いて歩行かせ、或は冷水等を以て皮膚を摩擦して勉めて眠ッて仕舞はぬ工風をするのが肝要、又人工呼吸を要することもある、（人工呼吸の事は別に詳しくは述べませぬ）勿論サウ云ふときには速に醫師を迎へらるれば、あとは醫師の劃作にあるのです。

今述べましたのは急性阿片中毒或は急性「モルヒ子」中毒で有りますが、慢性阿片中毒或は慢性「モルヒ子」中毒と云ふことが有るのです。ソレハ

阿片を、或は「モルヒネ」を始終用ひて居るものより發するので有ります、所謂「モルヒネ」阿片の濫用に由るので有ります。阿片等の濫用の始まりはドウ云ふ塲合かと云ふに、屢々其原因となるところのことは、身体の痛み、神經痛とか、或は「レウマチス」とか種々のからだの疼痛、ソレを一時除かんが爲めに「モルヒネ」を注射するとか、阿片を飮むとかすることよりして、ソレを用ひて居るときは痛みが止ッて居るが、其藥の作用が失せると、又更に痛んで來る、サウすると又堪えがたくあッて「モルヒネ」を注射し、阿片を飮む、ソレでまた一時に止まる、又時を經ると痛むと云ふやうな事からして慢性中毒を惹起するので有ります。其外原因となるものは不眠、夜間眠られないので、阿片「モルヒネ」を飮まなければ眠られないと云ふやうな事から夜々ソレを服すると云ふ樣なことから中毒を起す。其外の原因となるものは精神の苦痛、精神の苦みのあるときに、ソレを忘れんが爲めに、阿片或は「モルヒネ」を用ひる、而して其作用が失せると氣が塞く、心痛すると云ふやうなことよりして中毒を起すのであります。其他原因となる處のものは、殊に支那に於て原因となッて居る處の事は種々の妄說に惑ふので有ります…………ソレを一々述べることは致しませぬが、先づ斯う云ふ事も原因の一ッで有ります。其外英國などに於きましては、經濟的に阿片中毒を來たすと云ふことも尠なからんので有ります。ソレはドンナ事で有るかと云ふに、勞働社會の婦人などが晨働きに出ますのに、子供があッては働くことが出來ない、又獨子供を家に置いて出ることも出來

ないと云ふ樣な時に阿片丁幾と云ッて十倍のアルコールに阿片を溶したものを飮ませる、サウすると子供がすや／＼と眠ッて居る、而して晩歸ッて來て或は乳を飮ませ、或は食を取るなりさせると云ふ樣な事が、英國の勞働社會に盛に行はれる處があるさうで御座います。是れなどは輙ち經濟的の阿片中毒の原因である。此中毒の中殊に恐るべきは「モルヒ子」を皮下注射する習慣である、其毒が直接に身体に達して其害を爲すことが最も烈しいので有ります。此種類の「モルヒ子」中毒は歐米にも尠なからんので、我日本に於ても往々聞く處で、私も既に三人其患者を取扱つたことが有りますが、其中毒に罹る處のものは「モルヒ子」、幷に注射器を掌にする事の出來る地位に居るところのもので、即ち醫師に最も多いので御座います。

其次は藥舖とか或は其あたりのものです、其醫學に關せざるものゝ中では軍人が最も多い、軍人にはなぜソレが多いか解りませぬが獨逸で千八百七十年——千八百七十一年の普佛戰爭の時に澤山に此種類の中毒者が出來たさうです。ソレは創傷の痛みを減ずる爲めに、「モルヒ子」を注射した、ソレが習慣となつて、其中毒を惹起したものであるさうです

序に申上置きますが、一度阿片中毒に罹るとなか／＼神經痛どころでない、甚だしき苦みをしなければならぬ其故、少し位ゐの痛みには「モルヒ子」の注射などは御望みにならぬ方が、却ッて御爲めで有ります。「モルヒ子」は前申述ぶる如く激烈の毒で有りますが、併し是れを連用しまするど、其作用に感じなくなり、其作用が弱まる。乃ち例之

ば一センチグラムの「モルヒ子」を用ひて痛みを止めることが出來たものは、姑く經ッと一向感じない、ソレ故一センチグラム半、或は二センチグラムに量を增して始めて痛みが止まる。不眠症の人が夜分一センチグラムを服すると眠られたものが、姑くすると、三センチグラム四センチグラムとあッて、竟に十倍或は百倍ゝ分量を用ひねば利目が無くある、餘程奇妙の藥で有ります。又身体もソレに對する感覺が鈍ッて來るに從ッて、ソレに抗する力が殖えて餘程の大量にも堪へるので有ります。若しソレを中途で用ふる事を廢しまするど、たとへ神經痛は最早無い時でありましても、からだに非常に苦痛を感ずるか、種々の障碍をからだに生じて參ります。ソレを支那では癮症狀歟米にては「アブスチ子ンツ」症狀と申します。ソレはドンナ風であるかと云ふに、身体の各所に痛みを發する、淚が出る、痰が出る、夜眠られん、物が二ッに見ゆる、遠くに在るものが見へぬ、下痢或は血を下す、食事が進まぬ、汗が出る、或は馬刺利亞のやうな熱を發することなども有る。其外種々の狀を來しますが、先づ恰も重い「インフルエンザ」にでも罹ッたやうな、狀態で非常に苦む、(勿論熱は時として發することもあるので、いつでも必ず發すると云ふ譯ではない)而して甚だしきに至ッては心臟が痲痺して死んで仕舞ふ、又其時に非常に苦んで寧ろ死ぬ方が益であると云ふ考へを起して自殺するものなどもあるので有ります。爾う云ふ時に阿片或は「モルヒ子」を用ひますと、其症狀が消失して畧平生の有様に服するので有ります。併ながら始終阿片「モルヒ子」を用ひて

阿片に就て

居れば差支ないかと云ふに、初めの中はソレを用ひますればからだの苦痛は常に失せて略健康の狀態にあッて、職務に從ふことも出來るでありますが、だん／＼身体に變化を生じて、或は三ヶ月或は幾年か經る中に食物は進まなくなり、便通は始めの中は始終結して、後は始終下痢を起し、からだはだん／＼瘦せ衰へ、力は弱く手足は顫へ、歩行蹣跚としてヨイ／＼の歩くやうな風になりまして、阿片「モルヒ子」を多量に用ひても抑へ切れない。又からだの諸部に疼痛を生じて來る、爾う斯うする中に、又精神上に大へんに變化を生じて、德義心は亡びて仕舞うて、極く利己になり、社會の事國家の事、家族の事等も少しも構はぬ、義務と云ふ念は無く、進取る氣象が無くなり、大へんに憶病になり、懶惰になり、思考力が衰へる、而して始終阿片「モルヒ子」を渇望する事ばかり考へて居る、ソレを得んが爲めには詐欺もすれば竊盜もする、隨分地獄にでも若し其處に阿片「モルヒ子」があるなれば往くことを少しも厭はないと云ふやうな有樣になります。阿片中毒より姦淫すると云ふ例も尠からず種々の惡事に陷る、而して其樣に精神は劣等になり、身体は重病者の如くなッて、遂に短命を以て終り、或は時として我身の敢果なき在樣であることを覺ッて自殺をする、或は其間に或疾患に罹ッてからだが衰へてある爲めに、ソレに對する抵抗力が弱くなッて居る爲めに、ソレ程の病氣でなくとも殪れる、すなはち「モルヒ子」の濫用者に生きながら地獄に陷ッて居るものといふべきで有ります、又一名阿片「モルヒ子」の奴隷であるとも申します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯くの如き中毒者は療るかドウであるか、ドウ云ふ風にすれば療るで有らうかと云ひまするに、療らぬ事もない其治療方に、一時に阿片「モルヒ子」を禁斷するの法と、徐〻に二三週間乃至二三ケ月間にその用ふる藥の量を減らして往ッて遂に用ひない樣にすると云ふ法とある。ドチラの法が宜いかと云ひまするに、中毒の輕重體質等に因ッて、其方法を定むるが宜い。又輕度の中毒であッて、身體が强壯である處の者は、一時に全く斷禁して仕舞ッて少しも差支はない、寧ろ其の方が宜い。若し既に甚だしく衰弱ッて居るものであれば、漸々と禁斷する法が宜い、……併し二三ケ月といふのは余り長過ぎる、大抵二三週間懸れば宜しかるべきで有ります。ソシテ二三週間で療すのを賞用する人が最も多いので有ります。又阿片「モルヒ子」の嗜好を他の物で補ふ、例へば阿片に代へるに酒を飲むと云ふことを以て補ッて而して其間に阿片「モルヒ子」を拔いて仕まうと云ふ方法も行はれたことも有りますが、ソレはあまり効能は無いです。「モルヒ子」の代りに外の物を用ひますと、「モルヒ子」は「モルヒ子」、外の藥品であるに因ッて矢張り「モルヒ子」が入用、而してその外にまた新たに用ひた藥も中毒を發する、つまり重複中毒を發する、譬へば「アルコール」を多量に用ひれば同時に「アルコール」の中毒を發すると云ふやうな結果もあつたので有ります。其治療法を行ひまするには一の病院でなければ出來ない、先づ第一に病人を隔離して、健康者とは全く離れた處に置いて、患者が竊かに「モルヒ子」を用ひやせぬかと云ふことを見張ッて居るのが必要で有ます。（未完）

●大日本私立婦人衞生會
新潟支會記事

同會にては去る六月廿七日同縣尋常師範學校女子部に於て第三會の常集會を開きたるに來會者及傍聽者等を合せて八拾四名にて高橋辰五郎氏は本會に對する冀望を述べられ田代亮助氏は皮膚衞生と題し皮膚の組織、生理、疾患、攝生法等を以後每回引續き講話せらるゝことゝなり當日より演述せられたりと長谷川一詮氏は回歸熱に就き其症狀豫防法等を說き山元敬太郞氏は炭酸の實地試驗をなして其性質を說明し右終りて散會せりといふ

●同支會へ總裁殿下の御臨場

小松宮彰仁親王殿下には同妃本會總裁　賴子殿下御同道にて新潟赤十字社總會へ成らせられしが其際本會支會へも御臨場遊ばされしといふ今其景況を記さんに去月十日兩殿下御來着の節は會員一同にて奉迎同十一日午後二時頃兩殿下には同支會設けの縣會議事堂に臨ませられ階上設けの席にて御小憩役員へ拜謁仰せ付けられ次に妃殿下には知事の先導にて式場へ臨場せらる高崎別當、石黑軍醫總監、同夫人、上野いく子、花房赤十字社副社長之に從ふ殿下の上段の席に着かるゝや一同敬禮を行ふ此時君ケ代の唱歌ありて會長淺田みね子には會員名簿を上り夫れより高崎別當殿下の令旨を讀み上げ副會長杉本かの子講師總代醫學士淺田決君等の答詞あり次に石黑軍醫總監には婦人衞生の重要なること等を演說せられ是にて式終り殿下退出したまふ此時一同敬禮尋で退場せり此式擧行中小松宮親王殿下には階上にありて御覽遊ばされたりと當日は淺田會長杉本副會長及中野幹事其他役

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

員の盡力により來會員も二百餘名に達し極めて盛會ありしといふ

尙總裁殿下の御令旨及役員の答詞石黒軍醫總監等の演説は紙數限あるをもて次號に掲載することゝなしぬ

衛生叢談

◎撃劍柔術を体操に加るの議

撃劍及び柔術を高等小學及び中學校の体操科に加ふるの可否に就ては曩に文部省衛生顧問會の諮問に付したる由あるが同會は十四年以下の生徒に之を科するは身体の發達を妨ぐるの害あるも十四年以上の生徒には少しも害あるを見ざるのみならず却て其發達を助くるの益ありとの說多數にて略ば之に決し居る由なれば何れ遠からざる内尋常中學以上の生徒には遊戯として撃劍柔術を爲さしむるも苦しからざる旨告示せらるゝあらんといふ

◎赤痢病の流行

本年は虎列剌病の流行を免かれたる代りに全國各地赤痢病の流行甚だしく特に群馬、愛知、福岡、熊本等は日々夥多の患者を發生する由なるが今衛生局の取調に據れば同病は去月に入りて各地方とも頗る其數を增加し本月も引續き猖獗の模樣あり其統計に依れば六月中全國の患者五百七十七人、死亡七十七人ありしに七月末に至りては患者四千二百四人、死亡六百七十五人の多數に及べり其流行地は京都、兵庫、長崎、新潟、埼玉、群馬、奈良、愛知、靜岡、岐阜、長野、宮城、岩手、青森、秋田、福井、石川、島根、岡山、和歌山、高知、

福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島の一府二十五縣流行するに至れり

◎本年のコレラ病

全國のコレラ患者は初發より既に百三十餘名に達したるが何れも特發性の者のみにて傳染より發生したる者一名もなき由にて本年の虎病は先づ猖獗に至らずして撲滅すべしと去四日府下に於ける同患者は芝區一人神田區一人にして目下治療中なりと云ふ

◎海老のおぼろ

大坂市西區阿波座上通二町目の鮨商三島とくは高野豆腐を粉にし鉛丹を以て著色し海老のおぼろとして客を瞞着したること顯はれ西警察署にて處分せられしとのことなるが夏向き食物腐敗し易き折柄食物には注意すべきことなり

◎魚肉生食注意

去月岡山市東田町山本謙藏氏は新鮮なる鯛魚一尾を買ひ料理せんとしたるに其筋肉の中に一種の小虫を發見したりしにぞ如何なる虫か判然せざれは直ちに之を內山下なる岡山顯微鏡院に持行き之れが試驗を乞ひたるに全く裂頭絛虫の幼虫なりしと云ふ是れ恰牛肉を生食すれば絛虫の發生すると云ふことは既に知る處なるも(魚肉鮭鱒等には多し)就中各地方にて日常食用せらるゝ鯛にまて絛虫の幼虫が寄生するとは魚類を生食するには大に注意すべき事ともなり

◎明治二十八年六種傳染病患者及死亡數

去二十八年中の六種傳染病患者を調査するに總計十五万二千四百八人にして一昨二十七年に比すれ

ば實に五万八千八百十八人を減少し人口一万に對し三十六人四分五厘の割合に當れり又右患者の死亡は六万四千七百六十九人にして患者百人に付四十二人五分を占め居るといふ

◎衛生諸規則違犯者

昨年中衛生に關する諸規則違犯言渡を受け處分せられたる總計及分類を記さんに

◎藥品營業幷藥品取扱規則違犯のもの　男六十九人、無罪十三人、罰金四十六人、科料に處せられしもの十八人、沒收せられしもの二人

◎賣藥規則違犯　男二百六十五人、女十七人、無罪男十八人、女一人、免訴女一人、管轄違男三人罰金男二百五十一人、女十五人、科料男一人沒收男五人

◎藥用阿片賣買幷製造規則違犯　男八人、無罪六人、罰金二人

◎傳染病豫防規則違犯　男二百〇七人、女二人、無罪三十二人、女一人、罰金男百七十二人、女一人科料男五人

◎獸類傳染病豫防規則違犯　男三十人、女一人、無罪一人、罰金男二十七人、女一人、科料男二人、

◎獸醫免許規則違犯　男百四十三人、無罪八人、罰金百三十七人沒收せられしもの四人

◎種痘規則違犯　男十六人、女四人、無罪男三人、女一人、科料男二十八人、女十人

◎墓地及埋葬取締規則　男四人、科料四人

衛生試驗所の印紙を貼付したる藥品の外衛生試驗所の保證又は試驗濟の文字を記入したるもの　男八人、罰金八人、沒收一人

◎痘苗試驗と無料種痘　今回東京下谷二長町東京

痘苗製造所にて製造したる痘苗は試驗成績宜しきを以て頒下を實行すると同時に無料種痘を爲すと云ふ

◉衛生事務講習　大日本私立衛生會にては各地方長官の推選を以て各府縣より本月十五日迄に衛生事務講習生を募集す

◉牛乳の注意　夏季は牛乳最も腐敗し易し宜敷手數ありとも沸騰せしめ而して飲用せらるべし時節柄の注意までに

◉飲料水　「忘れても酌みやしつらむ旅人の高野の奥の玉川の水」とは古歌にも云ふ處なるが高野の奥ならずとも都下百万の人士が命の綱とたのむ神田、玉川兩上水が各自の手桶に入る迄には幾多の汚物を含有するや知るべからず之を思へば決して生水を飲用すべからず

◉撿梅醫の始祖　横濱梅毒病院長浦井宗一郎氏は撿梅醫の始祖にして明治元年ドクトル、ニュートン氏と共に梅毒院を設けて此道の發達を圖りたる人なりしが去る二十九日病没せりと云ふ

◉黑死病　臺灣安平に於ける患者初發より總數四十六人死亡三十九人臺南市初發より患者五人死亡二人ありしと云ふ

◉今回三陸地方大海嘯に付會員諸氏の義捐を求めしに義侠なる諸氏翕ふて賛成せられしを以て忽ち大多數の衣類を罹災地に寄送することを得たり今義捐者姓名を掲げて其厚意を謝す

各自義捐の衣類金圓等は詳細取調べ校正の上掲載致し候へども尚誤植も有之候へば御申越相成度次號に於て訂正可致候也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎三陸嘯害地義捐者姓名（姓名いろは順）

麹町區

金貳圓　嚴谷もと子
金壹圓　井上眺子
金五拾錢　今村いと子
單物拾枚　袖なし四枚　石河さた子
單物貳枚　會員外石河家召使　堺井よね子
帶壹筋、肌着貳枚　仝　仝　仝ひで子
金參圓五拾錢　伊東方嶷君
伊東家内　遊喜子
會員外　仝　鈴三郎君
仝　仝　四郎君
仝　仝　むめ子
仝　仝　いこ子
單物拾參枚　仝　仝　はな子
仝　仝　金之助君
仝　仝　諒榮君
女帶四本　仝　仝　とき子
仝　仝　その子
仝　仝　たか子
仝　仝　まつ子
仝　仝　半之助君
仝　仝　角造君
金參拾錢　市尾はつ子

金貳圓　原光子
金貳圓　橋口ちか子
金五拾錢　橋本ちせ子
金壹圓　橋木貞尾子
金壹圓　馬場さた子
金五拾錢　馬場きく子
金壹圓　西尾さやう子
單物六枚　本田圭子
單物壹枚、小供物四枚　得能絹子
金貳圓　戸塚鉄子
金五圓　大山捨松子
金貳圓　岡村靜江子
金五拾錢　小山田から子
白縮壹反　岡野幾子
金五拾錢　長田しき子
金參拾錢　小倉すゑ子
金貳圓　尾崎糸子
木綿縮壹反　和田垣つな子
金壹圓　加藤鈴子
單衣壹枚　春日井晴子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金參圓	加藤常子
金參圓	樫村永子
金貳圓	吉武輝枝子
金五拾錢	與倉幹子
金參拾錢	吉澤まき子
金壹圓	武富すみ子
金五拾錢	高崎竹子
金參圓	鷹司順子
單物五枚	丹治春子
單物參枚、子供物四枚	佃うめ子
金貳圓	長郷ちよ子
金五拾錢	長崎た惠子
金壹圓	中村春子
金五圓	鍋島榮子
金貳圓	植村妙子
金參圓	野崎陸子
金壹圓	馬屋原ひさ子
金參圓、單物拾九枚	裏松千代子
金五拾錢	草刈房子
金壹圓	山縣たか子
金壹圓	山本多穂子
金五拾錢	矢守つや子
ふとん壹枚	矢島揖子
小供單物參枚、單物壹枚、子供前掛貳枚	安永きく子
金參拾錢	松本梅子
金壹圓	船曳みき子
單物拾九枚、紐七本	近衛貞子
金壹圓	神山まさ子
金壹圓	葦原のふ子
金壹圓	有村千代子
金參拾錢	秋間たい子
金五圓	西郷きよ子
金壹圓	坂谷琴子
白飛白壹反	財部さわ子
金壹圓、單物拾枚	佐々木梅子
金壹圓	榊原綾子
金參圓	北澤信子
金五拾錢、單物四枚、郵券六拾錢	北澤菊子
金壹圓	三浦とき子
金壹圓	三嶋わか子

單物五枚　三好梅子
金拾圓　三井捨子
金參圓、郵劵貳拾五錢　三井晴子
金貳圓　四條春子
金壹圓　土方鶴子
金五拾錢　廣瀬りき子
單物六枚、下帶壹本　日高りき子
金貳圓　弘田益子
金壹圓　千田米子
單物壹枚　千田蘇茂子
金貳圓　鈴木照子
金參圓　鈴木信子

小計
單物　百六枚　小供物　拾壹枚
反物　參反　雜衣類　貳拾貳點
金百〇五圓八拾五錢

神田區

金參拾圓　岩崎早苗子
金壹圓　一井てい子

反物參反、單物壹枚、小倉帶壹筋　井野うち子
金參圓　池田甲子子
金五拾錢　原八重子
金參圓五拾錢 郵劵參拾四錢 反物貳反、單物貳枚　濱田捨子
單物拾七枚、小供物拾貳枚、シャツ參ツ 股引貳ツ　西邑せつ子
金壹圓　穗積さい子
金五拾錢、單物壹枚　大澤とよ子
單物參枚　若林金子
單物大小拾四枚、浴衣地壹反　神田德子
金貳圓　金杉松子
金壹圓　田中こう子
金五圓　田村長子
金參圓 作立代五拾錢、郵劵五拾四錢 單衣大小拾枚　高木鐐子
金壹圓　高橋清子
金參拾錢　高瀬みき子
單物四枚、小供物七枚　高田てる子
金壹圓　角田榮子
金參拾錢　中山ふさ子
金壹圓、單物五枚　內田やま子
單物大小四枚、布團表地壹反、手拭參筋　吳琴子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單物壹枚　會員外　栗田やす子
金貳圓　山崎鈴子
反物貳反　馬嶋園子
浴衣地五反、爾金木綿參拾貳片　松屋竹代子
金參拾錢　牧野きよ子
單物貳枚　裁縫學校生徒 會員外　郷田ひで子
白布五反　有泉房子
金貳圓　青山甲子
單物五枚　阿部みち子 森村春子
單物七枚　天野群子
金壹圓　新井琴子
金貳圓　秋元宗子
金貳圓　佐々木芳子
單物貳枚、シャツ壹枚　佐々木きさ子
金九圓　三井曉子
單物壹枚　三守ます子
金參圓、仕立代壹圓、浴衣五枚　三浦敎子
金四圓八拾四錢　宮本樂子
單物參枚　淸水うめ子

單物壹枚　井野うち子方 會員外　衛藤ゆき子
金壹圓　鈴木雅子

小計
單物　八拾八枚　小供物　拾九枚
反物　拾九反　雜衣類　拾壹點
金七拾九圓六拾貳錢

日本橋區

浴衣四枚　林つる子
金壹圓五拾錢　大井田良子
金參拾錢　大井田方　森川かめ子
金參拾錢　仝　永田てう子
金參拾錢　仝　石堂みち子
金參拾錢　仝會員外　高橋しけ子
金參拾錢　仝　山脇きよ子
金參拾錢　仝　吉村たか子
金參拾錢　仝　大井田ひで子
金參拾錢　仝　金子さみ子
金參拾錢　仝　秋間きく子
金參拾錢　仝　白井玉井子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單衣壹枚　　中村秀子
手拭拾本　　渡邊たか子
金貳圓　　粕谷たけ子
金參圓　　高橋瑞子
金壹圓　　富安鈍子
金貳圓　　山田そめ子
浴衣四枚、手拭拾本　　後藤はつ子
手拭五拾本　　小林延之助君
手拭拾本　小林延之助君ヨリ會員外　小林つる子
手拭參拾本　仝　岡本光長君
手拭拾本　仝　栗田元次郎君
手拭參拾本　仝　內山顯吉君
手拭參拾本　仝　大塚たけ子
手拭參拾本　仝　柴田萬次郎君
手拭拾五本　仝　中島重次君
手拭拾貳本　仝　戶室孫助君
金貳拾錢　仝　多谷ぎん子
金拾錢　仝　多谷たつ子
金貳拾錢、浴衣壹枚　仝　島田つる子
手拭貳本　仝　嶋田さだ子

手拭拾本　仝　八木音次郎君
手拭參拾本　仝　小林兵助君
手拭參拾本　仝　小林きん子
浴衣壹枚　毛繻子女帶壹筋　仝　星野はる子
手拭拾本　仝　木村新吉君
手拭九本　仝　木村太郎君
　　　　　仝　木村留吉君
　　　　　仝　木村富雄君
晒木綿五反　　齋藤澤吉君
金壹圓五拾錢　　佐竹勝兵衛君
金五拾錢　　宮田鶴子
金貳拾錢　宮田鶴子ヨリ會員外　宮田もと子
金貳拾錢　仝　齋田つね子
金貳拾錢　仝　安藤まさ子
金貳拾錢　仝　堀かめ子
金拾錢　仝　生駒きく子
金拾錢　仝　竹內たみ子
金拾錢　仝　伊木こう子
金拾錢　仝　中西いく子
手拭拾本　仝　樋口八重子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單物参枚、シャツ壹枚　會員外　山本吉二郎君
單物参反　會員外　本庄安子
　　　　　仝　額田とせ子
　　　　　仝　伊藤よね子
手拭五拾本　仝　日本橋濱町有志者

小計
單物　拾七枚　反物　五反
雜衣類　参百九拾點
金拾六圓貳拾錢

京橋區

金五圓　池田米子
金壹圓　石川さだ子
　　　　高崎妙子
金五拾錢、浴衣貳枚　石崎ひさ子
金参圓　花房千鶴子
浴衣壹枚　長谷部定雄君
金五圓　西升子
金参圓、浴衣参枚　西部子
金壹圓　新山きく子
浴衣貳枚　堀越科子
金壹圓　岡崎珍代子
浴衣地貳反　渡邊米子
金五拾錢　高石とみ子
浴衣地壹反　多田なを子
金壹圓　高山樂子
金五拾錢　長井ぬい子
浴衣貳枚　長森ひて子
金貳圓　浦島てい子
金壹圓、浴衣七枚　山田鴉子
金壹圓　山田登利子
金貳圓　福原とく子
浴衣壹枚　赤澤とよ子
浴衣壹枚　綾井きん子
金壹圓　安西ちを子
浴衣地参反　岸美代子
金五圓、郵券五拾錢、浴衣大小七枚、襯衣七枚　宮下咲子
浴衣貳枚　宮下咲子方書生　藤野健吉君
浴衣壹枚　仝　飯塚生
浴衣地壹反　水崎保佑君
金壹圓　御厨富子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

金壹圓 瀧澤よし子
浴衣地壹反 平田よし子
金參圓 森岡きみ子

小計
單物 貳拾九枚
反物 八反 雜衣類 七点
金參拾九圓

芝區

浴衣地貳反 岩野いく代子
金五圓 今村家壽子
浴衣壹枚 磯部そよ子
單物參枚 橋口喜代子
子供物參枚、單物貳枚 橋元嘉代子
金貳圓五拾錢 蜂須賀隨子
金貳圓五拾錢 蜂須賀筆子
金仁圓、フランチル單物貳枚、フランチル子供物壹枚、子供物襦袢壹枚 仁禮すか子
金參拾八錢 仁禮家雇人 肝付成二君
金五拾錢 仝 石山助次郎君
金貳拾五錢 仝 菊池兼次郎君

金拾五錢 仝 光田辰吉君
金拾錢 仝 野村修二君
金貳拾錢 仝 中村伊兵衛君
金拾五錢、單物壹反 仝 高田よし子
白飛白壹反 仝 佐宗きよ子
金拾貳錢 仝 岸ふじ子
金拾五錢 仝 玉尾すゝ子
金五圓 大江小苗子
金貳圓 太田龍子
浴衣地貳反 大城高子
金參拾錢 大西靜子
金壹圓 加藤麗子
金五拾錢 加藤きく子
金壹圓 河津敏子
金五拾錢 吉原かや子
金參圓、單物五枚、シャツ壹枚 上野幾子
金壹圓 上野幾子内
衣類拾七点 笠原保子
金壹圓 高山愛子
浴衣地貳反、單衣參枚 玉利信子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單衣參枚、小供物貳枚　田中てる子
金壹圓　圖師さよ子
浴衣四枚　梅田くわ子
金參拾錢　村石よね子
金壹圓　山口せき子
金五拾錢　山田ます子
金貳圓　山際はる子
浴衣貳枚　山田久米子
浴衣四枚、小供帶壹筋　山田文子
金壹圓　山地謙子
金壹圓　牧かね子
浴衣貳枚　松山信子
金壹圓　町田榮子
金參圓　兒玉志那子
金參圓　後藤雪子
金壹圓　河野せき子
金五拾錢　小森すが子
金壹圓　有馬幾子
金五拾錢　朝野かま子
金五拾錢　秋庭てる子

金參拾錢　朝日奈とら子
浴衣貳枚　阿部俊子
金壹圓　佐伯ちか子
金參拾錢　澤とよ子
浴衣參枚　鮫嶋みね子
金壹圓　齋藤春子
手拭拾本　齋藤家召使　飯塚ふさ子　高久とよ子
金五圓　木村ふみ子
金五拾錢　神宮司富子
單物五枚、小供物參枚　篠原さだ子
金壹圓　志岐千代子　志岐榮子
子供物袷羽織貳枚、仝單物貳枚、シャツ參枚　下村ちと子
金貳圓、郵券七拾四錢　淸水とし子
金五圓　久松貞子
浴衣參枚　杉いそ子

小計
單物　六拾四枚　反物　八反
仝小供物　八枚　雜衣類　拾八點
金六拾八圓四拾四錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

麻布區

金五拾錢單物五枚、襦衣弐、足袋五、靴下参、股引弐　井上光子
金五拾錢　伊集院とよ子
金壹圓、手拭参拾本　岩橋とき子
金拾錢　岩橋家内某
金壹圓　石河里子
單物四枚　本田梅子
單物弐枚、襦袢壹枚　徳田糸子
單物五枚　川上やす子
金壹圓　門野駿子
單物大小拾四枚　金子家壽子
單物五枚　玉利和歌子
金五圓　田中とら子
金五圓　鍋島業子
金参圓五拾錢　南部くま子
金弐圓　向山靜子
　　　　小倉すゞ子
金五拾錢　上村喜代子
金壹圓　冲きよ子
金壹圓　大井上兼子

單物弐枚　松岡光子
金五圓　松平芳子
すきや帷子壹枚、綿縮單物壹枚　松平家内某
金弐拾錢　松平家内某
金壹圓　福地しつ子
金壹圓　藤田開子
單物拾枚　芦田操子
金参圓　寶吉れん子
單物弐枚　森園子
金壹圓　關郁子
金壹圓弐拾錢　服部たき子
　　　　　　　土田すへ子
　　　　　　　千種八百子
　　　　　　　小野はる子
　　　　　　　加藤ふみ子
　　　　　　　秋元みち子
金八拾錢　岩井ちよ子
　　　　　橋本はる子
　　　　　金田孝子
　　　　　瀧川まち子
　　　　　村松ふさ子
　　　　　九里とよ子
　　　　　山口初子
　　　　　的場光子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小計

單物 五拾壹枚 雜衣類 四拾參點

金參拾五圓參拾錢

赤坂區

金參圓 一條良子
單物地參反 石黑すま子
單小供物貳枚 石田くめ子
金五拾錢 萩原彌四郎君
金五圓五拾錢 羽田三緒子
單衣四枚 新山雅樂子
白木綿壹反 會員外 新山房子
金參拾錢 仝 仝 僕婢某
金五拾錢、單衣大小貳枚 本多貞子
金五拾錢 會員外 東條たか子
單衣地壹反 大久保きみ子
金五拾錢 會員外 久野たけ子
金壹圓 加藤つる子
金五拾錢 內山訓子
單衣參枚 黑田てつ子
金壹圓 矢野れつ子

金壹圓 厚東ゆき子
金五拾錢 會員外 河野たく子
金壹圓、單衣大小六枚 多久千枝子
單衣地參反 津田たま子
單物大小六枚 會員外 小嶋とも子
古衣色々 仝 椙江むめ子
金貳拾錢 淺井梅香子
金壹圓 有田あを子
金壹圓 相良濱子
金五拾錢 齋藤咲子
單衣壹枚 坂本房子
金參拾錢 會員外 喜嶋つせ子
金五拾錢 秀嶋つね子
金壹圓 本尾しけ子
單衣地壹反 永沼貞子
古衣色々 會員外 瀨尾はつ子
古衣色々 仝 森己之助君
單物大小四枚 仝 湯淺內

小計

單物 貳拾九枚 外古衣色々

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小兒物　貳枚
金貳拾圓參拾錢
反物九反

四谷區

金五拾錢　稻垣かつ子
金壹圓　星野茂尾子
金貳圓　相馬陸子
金壹圓　相馬綾子
金壹圓　相馬宣子
金五拾錢　堤まつ子
單物六枚　村山つる子
金壹圓　山上よし子
金拾圓　松平充子
金貳圓　牧野しん子
金壹圓　福羽禎子
金五拾錢　粟屋武子
金五拾錢　粟屋榮子
金壹圓　三宅みち子
金貳圓　鈴木宗玄君
金五拾錢　野崎和歌子
金參圓　馬渡玉子

小計
單物　六枚
金貳拾七圓五拾錢

牛込區

金參圓　犬養千代子
金參圓　板倉藤子
金壹圓　伊東登美子
金五拾圓　岩崎久彌君夫人
金貳拾圓　岩崎久彌君令妹
金六圓、郵券壹圓　鳩山はる子
單物貳枚、小供物貳枚　林靜子
金拾圓　單物八枚小供物四枚帶壹筋　穗積うた子
單物貳枚　別役ゆか子
金壹圓　小野芳子
金壹圓五拾錢　沖野りう子
金參拾錢　沖ゑい子
金參圓、單衣拾壹枚　小笠原純子
單衣壹枚　小笠原家内會員外　市川さよ子
單衣參枚　仝　原喜一郎君
金參拾錢　仝　秦きよ子
金參拾錢　仝　西村嘉七君

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

單衣壹枚　小笠原家內會員外　岡井とよ子
金參拾錢　仝　岡部たか子
單衣壹枚　仝　渡瀨くに子
單衣貳枚　仝　吉川京子
單衣壹枚　仝　吉岡はる子
單衣壹枚　仝　田代こう子
單衣貳枚　仝　上田秀子
單衣壹枚　仝　柳下きく子
金五拾錢　仝　山崎理久藏君
浴衣壹枚　仝　間原しゆむ子
金壹圓五拾錢　仝　前田千津子
金參拾錢　仝　古市宗也君
金五拾錢　仝　荒牧道貫君
單衣貳枚　仝　木崎琴子
金五拾錢　仝　澁田見與衛子
單衣貳枚　仝　平井複磨君
金貳圓　川田光子
金貳圓　河上古代志子
金五圓　竹谷うた子
金壹圓　高田夫人

金壹圓　谷田登利子
金五圓　中橋悅子
單衣參枚　福原きよせ子
金貳圓　木場小百合子
單物地拾反　小柳やす子　小柳美代野子　小柳睦子
金壹圓　兒島直子
金參圓單物拾壹枚、細帶拾本 小蒲團壹枚、竹行李壹個　青木すみ子
金五拾錢　青戸さく子
金參拾圓　木內磯路子
島崎とく子
金五拾錢、單物三枚　志水ふさ子
金壹圓單物五枚、袷半天壹枚 腹掛壹枚、股引二足　森安かた子
金貳圓、單物二枚　瀨川ゆき子
單物地一反　末岡さた子

小計
單物　六十五枚　小供物　六枚
反物　十一反　雜衣類　六點
金百六拾圓　竹行李　一個

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小石川區

金四拾錢　石川さの子
金五圓、單物五枚　濱尾作子
金壹圓　濱　欽子
金貳圓　長谷川仲子
金壹圓　伴　よし子
單物拾壹枚、帶壹筋　服部しげ子
金壹圓單物九枚、帶壹筋手拭拾本　片山龜子
單物四枚　笠井梅野子
金貳圓　田中すま子
單物地五反　田中いよ子
仝　四反　高山さき子
單物貳枚　武村千佐子
單物四枚　曾根しん子
金壹圓　野澤　鄙子
金壹圓　野村すみ子
金壹圓、單物五枚、ケット壹枚　大澤さく子
單物四枚　久保田八重子
仝七枚　倉田香名子
金貳圓　山川すま子
單物壹枚　枚野ゑい子
金五拾錢　近藤　幸子
單物參枚、シヤツ參枚　小林まさ子
單物貳枚　手塚ふく子
仝　五枚　寺田つね子
仝　拾枚　木下つね子
仝　五枚　三浦せん子
仝拾參枚、シヤツ參枚　三宅ふじ子
金參圓　須田いそ子

小計
單物　九拾枚　反物　九反
雜衣類　拾九點　金貳拾圓九拾錢

本郷區

金壹圓　今村　末子
單物貳枚　會員外 石原いま子
金五拾錢　服部もと子
手拭參拾本　梅林寺と代子、大石こう子
單物貳枚　細木登美子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

加藤ひで子　金壹圓
鎌田ふじ子　金五拾錢
吉原よね子　金壹圓
谷千代子　金參拾錢
丹波さだ子　金四圓
代とめ子　金五拾錢
田口つる子　金壹圓
辻さと子　金壹圓
坪井なを子　單物五枚
坪井國子　金參圓
土屋しん子　單物四枚
津田なか子　金壹圓、單物參枚
津田家召使　長谷川かつ子　單物壹枚
野口きい子　單物壹枚
野田すみ子　金貳圓
岡山とし子　金貳圓
岡澤なを子　單物五枚
岡田德子　金參圓參拾錢
緒方ゑつ子　金參圓
大村やす子　小兒單物五枚

吳みお子　金六拾錢
久米文子　金拾五錢
松平すゞ子　金貳圓
眞水定子　金五拾錢
松田章子　金壹圓
前田朗子　金參圓
古市こう子　單物拾枚
小立ため子　金壹圓
兒島悅子　金五拾錢
後藤あさ子　金五拾錢
會員外　小金井雪子　金壹圓
秋田はる子　金拾錢
榊幸子　金參圓、單物五枚
佐藤靜子　金參圓
佐藤梅峰子　金壹圓
今泉幸子　金壹圓
齊田とき子　金參拾錢
菊池たつ子　金壹圓
菊池たけ子　金貳拾五錢
岸田松二郎君　金參拾錢

金壹圓　物集りう子
金參拾錢　杉山ふさ子
　　　　　藤本まき子
　　　　　龜山みね子

小計
單物　參拾八枚　仝小兒物五枚
雜衣類　參拾點
金四拾六圓六拾錢

下谷區

金貳圓　犬養かつ子
金壹圓　單物參枚、小兒物壹枚、シャツ壹枚　今田はつ子
單物壹枚　井岡ふで子
金五拾錢　和田ふく子
小兒單物貳枚　粂子きみ子
單物五枚　鹿島いね子
金壹圓　根岸かな子
金參圓參拾錢　單物八枚、帶壹筋、帽子貳個、胸掛貳個、襦袢八枚　中濱よし子
金九拾錢　村上れん子
　　　　　關てい子
　　　　　小林つる子

單物參枚　大森くめ子
金壹圓、單物參枚　岡田ひで子
金壹圓　岡野かく子
單物貳枚　太田いく子
金壹圓　山川二葉子
金壹圓　八代みさほ子
金參拾錢　增田花子
金參拾錢　海老原つる子
金五拾錢　青木すゞ子
　　　　　本間ゑん子
金參拾錢　單物參枚、袷壹枚、ゆまき五、腹卷貳、襦袢貳、股引參、腹掛壹　齋藤まさ代子
金壹圓九拾錢　單物五枚、帶壹、襦袢貳　佐藤らく子
金貳拾錢　佐藤家内會員外　佐藤亭子
金壹圓　衣笠ゆき子
金五拾錢　三田わさ子
單物貳枚　須田すゞ子

小計
單物參拾五枚　小兒物　參枚
雜衣類　參拾壹點
金拾七圓參拾錢

淺草區

單物小供物貳枚　會員外 長谷川ます子
金壹圓　大谷嘉知子
金壹圓、單物七枚　小林千代子
金壹圓　須藤鳳子
小計　單物　七枚　金參圓　小供物貳枚

本所區

金壹圓　中村たけ子
小計　金壹圓

深川區

金參拾錢　井澤ろく子
單物五枚　鹿島こと子
小計　單物五枚　金三拾錢

正誤

○表中神田區三浦敎子の部郵券參拾錢脫漏に付玆に正誤す

謹告

一金拾五圓　總裁 小松宮彰仁親王妃頼子殿下

右は御特志を以て本會嘯害地救恤費中へ御下賜相成りたり此段謹告す

嘯害地救恤に關し玆に收支決算を爲すこと左の如し

收入之部

一單物　六百參拾枚　會員より寄送
一仝小供物　五拾六枚　仝
一單物地　七拾貳反　但單衣調製　仝
合計　七百五拾六枚
一雜衣類　五百七拾七点　會員より寄送
一寄附金六百五拾六圓參拾壹錢　仝

支出之部

一單物千百六拾四枚
內譯

一單物地　七百五拾六枚　會員より寄送の分
　四百八枚　反物千反買入の內より調製
　六百六拾五反　但千反買入の內
一雜衣類　五百貳拾点　但發送後集り分は福田會へ寄送の事

右送出の爲めに要せし諸費

一金五百圓　晒縞單物地千反購入費
一金貳拾四圓六拾貳錢四厘　反物仕立代
一金拾參圓參拾七錢　運送費
一金貳拾參圓〇參錢　諸郵稅
一金六圓五拾錢　諸印刷費
一金拾壹圓參拾六錢　諸車費
一金拾參圓五拾參錢　電話廣告幷雜費
一金六圓四拾貳錢　謝狀用紙筆墨紙
一金五拾圓　福田會海嘯地孤兒保育費中へ寄送

合計　金六百四拾八圓八拾三錢四厘
差引殘金七圓四拾七錢六厘
（外に脫漏分參拾錢）

○右決算に於ける殘餘金は是又福田會嘯害地孤兒保育費中へ寄送することゝせり尙孤兒保育の現況及領收證等は追て記載すべし

◉岩手宮城靑森の三縣知事よりの謝狀左の如し

拜啓陳者縣下海嘯罹災者恤救として貴會員各位より單物九百三拾四點單物地三百六拾五點其他雜品とも御寄贈被下御厚志の段奉深謝候早速被害地へ發送夫々分與可取計會員各位には一々御禮狀不差出候間甚乍御手數貴下より御傳謝被下度先は御挨拶まて早々拜具

明治二十九年七月十日
岩手縣知事　服部一三

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子殿

拜啓陳者縣下海嘯に就ては被害者救恤の爲め單衣及單衣地許多御贈付被下御厚意鳴謝に不堪候右は早速災害地へ贈付配與方取計置候間御承知相成度依之不取敢右御挨拶迄如斯に候
敬具

明治廿九年七月十三日

宮城縣知事　勝間田　稔

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子殿

追て別紙受領證及御回付候間御落手被下度候

證

一單物　貳百枚
一單物地　貳百反
但し本縣管内海嘯罹災者救護の爲め寄附の分

右正に受領候也

明治廿九年七月十三日

宮城縣知事　勝間田　稔

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子殿

本縣下大海嘯の災變に付罹災者へ恤救の爲め貴會々員より醵集相成候單物地百反單物參拾枚御寄贈相成御厚志の段感謝之至に候迅速配分方可取計候條御會員へ可然御傳謝相成度及御挨拶候敬具

明治二十九年七月九日

青森縣知事　佐和　正

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子殿

追て領收證別紙御廻付候に付御落掌相成度候

證

一單物地　百反
一單物　參拾枚
是は本縣大海嘯罹災者へ恤救用として御寄贈の分

右正に領收候也

明治二十九年七月八日

青森縣知事　佐和　正

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子殿

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉寄送雜誌

細菌學雜誌　會員吉澤まさ子寄送

右は同氏より以來引續き本會へ寄送せらるゝ由なり茲に掲げて謝意を表す

◉七月より八月に至る入會者左の如し

◉事務所へ申込により

本郷元町二丁目四十七番地博愛看護婦會
通常會員　秋間爲子

◉會員村松ふさ子の紹介により

日本赤十字社病院　松永とし子

◉評議員丹波さだ子の紹介により

芝區田村町十六番地通常會員　島崎たけ子

◉會員山田粂子の紹介により

芝區葺手町廿六番地通常會員　石井ふみ子

◉新潟支會へ申込により

新潟市本町通り十二番町　田代てふ子
仝　市營所通貳番町　西田むめ子
仝　市旭町一番町三十九番戸　森　逕子
仝　市本町通り十番町　能勢ます子
仝　市上大川前通り七番町　若杉さく子
仝　市大畑町一番町　高橋貞子
仝　市寄居町　池原さん子
仝　市本町通り八番町　白勢はな子
仝　市上大川前通り六番町　竹山れつ子
仝　市西堀四番町　川俣やす子
仝　市上大川前通り九番町　小川とり子
仝　市營所通り　淺田みね子
仝　市醫學町通り一番町五十六番戸　神尾津哉子
仝　市上旭町通り四十六番戸　吉田淑子
仝　市旭町通り一番町四十二番戸　安原波子
仝　市旭町裁判所官舍　北條喜久子
仝　市礎町二ノ丁　南むね子
仝　市東堀前通り五番町　松尾勉子
仝　市東横堀　内田さと子

仝　市大畑通り　坂口あさ子

仝　市營所通り二番町二番官舍大和田かつ子

仝　市古町通り七番町　小出やい子

仝　市寄居町四十六番戸　高橋たゝ子

仝　市礎町六ノ町一番戸　清水操子

仝　市上大川前通十番町　富岡つわ子

仝　市醫學町　槇なみ子

仝　市西堀通七番町　今湊正子

仝　市學校町通二番町百六十五番戸　關口げん子

仝　旭町一番町十八番戸　水谷しげ子

仝　市本町通八番町　田邊りん子

仝　市本町通十番町　岩田むつ子

仝　市西堀通五番町　工藤せい子

仝　市上大川前通六番町　青山つね子

仝　市西堀通四番町　川俣やす子

仝　市上旭町一番町三十二番戸阪口とも子

轉居

麴町區土手三番町二十四番地一號へ　柳川基礎子

牛込區佐土原町一丁目一番地へ原みつ子

麴町區一番町二十七番地へ　丹治春子

麻布區山本町五十八番地へ　神宮司富子

麻布區櫻田町一番地へ　本間ゑん子

麴町區下二番町五十番地へ　福井まさ子

麴町區飯田町三丁目二十七番地へ　植村妙子

麻布區本村町百八十七番地へ　蘆田操子

小石川區竹早町七十七番地へ　水野みね子

◉改性

會員鳥越ゑい子は伊東と水野みね子は菊池と地方會員山田ひさ子は早瀬と改性せられたり

◉今回は罹害地義捐取調の爲め時日を要し雜誌配達等從て遲延致し候段玆に鳴謝す

大日本婦人衛生會

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て終身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し

但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身贊成會員(無會費)とすると有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰舉し書記は幹事の推撰により會長之を命ず

但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る

但幹事の分課を設けて　第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外每月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　講義演說の際男子の傍聽を禁ず

但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

務所に引出置を得

第十九條　會計の收支は總て會計課幹事の捺印を要す

第二十條　會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條　會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條　入會員には會員證を附與すべきに付郵使にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條　每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

第廿四條　三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條　規則の範圍内に於て役員の評議を以て會細則を設くることを得

第廿六條　各地方にて發起者十人以上ある者は支を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條　本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條　會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

第廿九條　入會後轉居する者は速に事務所に通知ある可し尤も死去の節は親戚知友等より通知ある可し

第三十條　退會せんとする者は會員證を添へて其旨事務所へ報知あるべし

明治二十五年九月

東京下谷區練塀町四十三番地

私立　大日本婦人衞生會

明治廿九年八月五日印刷

明治廿九年八月七日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衞生會

編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中德三郎

印刷者　同神田區小柳町十三番地　小高良造

印刷所　同神田區旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行

（定價金拾錢）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN